

つなぐ



<現在の設立状況(27.8.1)>
 まちづくり協議会 17 地区
 まちづくり協議会準備会 1 地区

Vol. 2

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

H P： <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>



趣あるお寺でのんびり

お茶でもしませんか？

八坂 ふれあい カフェ

Information



100円
飲み放題



常連の
加地さん

「ふれあいカフェ」

○場所：築山町・西法寺

○時間：毎週木曜日

10時～16時



毎週来ていて木曜日が楽しみ。
素敵なお寺で綺麗な庭もあって、
こんな場所は他にない。カフェの
みんなも優しくお世話してくれて
カフェが出来て良かった。

西法寺副住職

松本さん



みんな来て、お喋りしてくれるのが嬉しい。



カフェ支配人
山崎さん

お寺を地域の人に使ってもらいたいと
思っていて、このような良い機会をいただいて、
地域の人とお話しする場が出来て良かった。

手を「つなぐ」ような場所をつくりたい
八坂地区まちづくり協議会は、今年の1月から西法寺
で『ふれあいカフェ』をスタートさせました。コーヒー、
紅茶、ジュースなど豊富なメニューをそろえており、訪
れたみなさんは、お寺の古風な和室でセミの声を聞きな
がら、ゆったりとした時間を過ごされていきました。この
カフェは、「みんなで気軽に話し合える、手をつなぐよ
うな場所をつくりたい」という思いがきっかけとなり、
西法寺の方々にご協力いただき実現しました。

特集 地域カパワーアップ大会

～ 広げよう！ まちづくり協議会の輪 ～

6月28日(日)北条市民会館で、地域カパワーアップ大会を開催し、5地区のまちづくり協議会の事例紹介や、松山市コミュニティ・アドバイザーとの意見交換などを行いました。この大会は、各地区の取り組みを分かりやすく紹介し、まちづくり協議会とは何かを市民の皆様にも広く知っていただくとともに、地域のまちづくりについて考える機会となるよう開催しました。開催にあたりご支援いただきました皆様、そして、ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

第一部

事例発表



【発表内容】

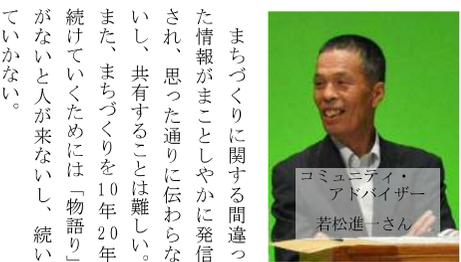
- ① 潮見地区「まちづくり協議会と各種団体の関わり」
準備会検討段階では、疑問や否定的な意見が出た（公民館がなくなる、まち協会長が一番位が高い、既存団体の活動が制約されるなど）課題解決のため、公民館活動や町内会活動との区別を明確にしていることになった
- ② 北条地区「ふるさとCM大賞で北条の魅力発信」
SNS（フェイスブック）等の活用は、興味がないと見てくれないツールであるため、まちづくり情報だけでなく、「北条（ふるさと）の良さ」を発信することが大切
- ③ 中島地区「トレッキングコースの施設整備」
地元住民と移住者がボランティアで協力して実施した
地域資源を守り育て、島の活性化につなげていきたい
- ④ 桑原地区「福祉マップで人にやさしいまちづくり」
何をマップに掲載すべきか、まちづくり通信で公募し、まちあるきを実施
- ⑤ 正岡地区「地域の宝みがき 八竹山整備」
正岡小学校6年生による桜の植樹を開始。卒業記念の恒例行事として継続
・「いっしょにやろや」の合言葉で、地域の宝を後世に残していきたい

第二部

意見交換

第一部で発表した事例について、5地区のまちづくり協議会の代表と松山市のコミュニティ・アドバイザー3名が意見を交わしました。前田アドバイザーにコーディネーターをお願いし、皆さんに熱い思いを語ってもらいました。

『情報発信』と『物語りづくり』



まちづくりに関する間違った情報がまことしやかに発信され、思った通りに伝わらないし、共有することは難しい。また、まちづくりを10年20年続けていくためには「物語り」がないと人が来ないし、続かない。



まちづくり通信を年3回発行している。「物語りづくり」については、正岡を一望できる八竹山を整備し、今の子ども達の記憶に残してあげて、親しめる場所にしていきたい。



桑原の淡路ヶ峠の桜の植樹を中学生と一緒に活動し、大人になって、また登りたい、と思ってもらえるように、未来へ繋げていくことが大事だと思う。

『まちをつくる』ことは愛着がないと無理なこと。その地区を好きになるかどうかは「地域を知っているかどうか」で決まる。地区の特性や価値をどう認識し、共有して、磨きをかけていくかということが大事。

『このまちが好きだから』

「まちをつくる」ことは愛着がないと無理なこと。その地区を好きになるかどうかは「地域を知っているかどうか」で決まる。地区の特性や価値をどう認識し、共有して、磨きをかけていくかということが大事。



大型案内看板や昔の写真を冊子にした「昭和の原風景「潮見のふるさと音頭」のDVDと歌碑を作成することで、地区を知り、好きになってもらいたい。



小学生に「どうしてまちづくりをするの？」と聞かれ、「このまちが好きだから」と答えた。北条を一度離れたが、帰ってきて改めて良い所だと気付いた。



まち協で作った「中島ふるさとかるた」の俳句を中学生に考えてもらった。地域のことを詠むことで郷土愛を学ぶ機会になったと思う。



かざはやミニ楽市

場外では北条まち協がうどんと鯛めし、中島まち協がひじきとカルタを販売しました！



甘めの優しい味のうどん



北条かざはや楽市は偶数月の第2日曜に北条駅前商店街にて開催中♪

「地域づくり支援セミナー」実施報告

防災をテーマに全4回開催(前期)

松山市と愛媛大学の共同事業として、まちづくりに関わる人材育成の「地域づくり支援セミナー」を毎年開講しています。今年度は、幅広いまちづくり活動の中から、防災をテーマに実施しました。このセミナーは平成16年から始まり、これまでの受講生は400名以上になります。受講生の皆さんには地域で活躍されることを期待します。



講義



グループワーク

【第1回】カリキュラム

- ・松山市の防災・減災への取り組み(消防局)
- ・地域におけるまちづくり制度の説明(松山市)

【第2回】

- ・グループワーク(愛媛大学 前田教授)
- 「要援護者への支援」「避難所の運営」について

【第3回】

- ・要援護者支援の取り組み(石井まち協)
- ・南海トラフ巨大地震の概要、シミュレーションを交えた被害想定(愛媛大学 二神准教授)

【第4回】

- ・粟井地区まちあるき

活発に意見が出て楽しいです。自分の地域のこととして捉える意識が出てくると意見に深まりが出て、より良いと思います。愛媛大学 前田教授



南海トラフ巨大地震に対して防災意識が高まったし、これから何をしたら良いか改めて考えられました★



受講した高校生3人組

愛媛大学防災情報研究センター 二神准教授

受講生の皆様へ

地域でリーダーとなり、子どもや高齢者までと一緒にまちあるきをして地域の強み・弱みを見つけてほしいです。それを皆で話し合い地区防災計画に結び付けていってください。



★お知らせ★ 今年度は11月にもセミナーを開催予定！10月頃に広報まつやまやホームページ等でお知らせしますので、ぜひご応募ください♪

第2回 まちづくりで輝く人 地域で活躍している人をご紹介します

八坂地区まちづくり協議会
事務局長 山岡 堯(たかし)さん



趣味・狸

狸の昔話・伝説を研究して、狸の会をつくった。

第二回のまちづくりで輝く人は、今年度から八坂地区まちづくり協議会の事務局長に就任されました山岡堯さんを紹介します。

【まち協に関わるきっかけ】

まち協の人と飲み友達で、元々交流があった。酒の縁で、まち協の面白いお話しをしてもらって、やってみようかなと思った。

【八坂の魅力】

石手川・中ノ川、城山の景観も素敵で、さらに市街地にも近く、半分シティ・半分自然のちょうど良いまち。松山市がコンパクトシティなら八坂は“コンパクトエリア”かな。

【抱負】

みんなが「仲良く」「楽しく」「有意義」に協力し合って、まちづくりをしていきたい。

(編集者より) 八坂ふれあいカフェ

では、八坂の昔話や狸などの面白いお話を聞くことが出来るので、ぜひ行ってみてください★

